

岩手県感染症週報

令和 8 年第 31 週（7 月 27 日～8 月 2 日）

岩手県感染症情報センター

第 31 週

1 類感染症

- ・ 患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・ 結核の報告が 3 例ありました。

3 類感染症

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が 2 例ありました。

4 類感染症

- ・ 患者発生の報告はありませんでした。

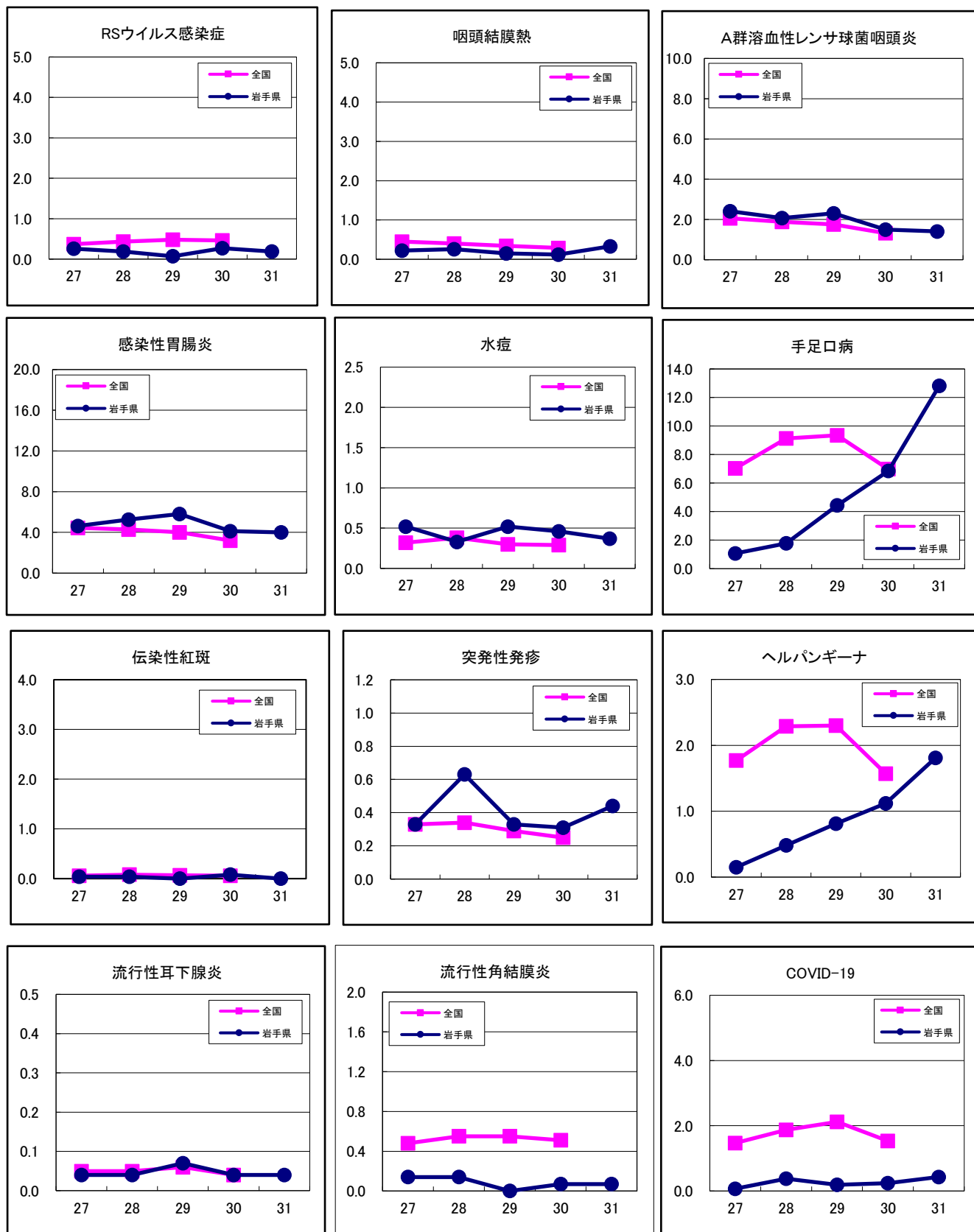
5 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・ 水痘（入院例）の報告が 1 例ありました。
- ・ 梅毒の報告が 1 例ありました。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・ 手足口病の定点当たり患者数は増加し、12.81 人となりました。大船渡、久慈地区を除くすべての地区で警報値（5.0 人）を超えています。本症は口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。子供を中心に主に夏に流行するウイルス感染症です。飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。
- ・ 夏風邪といわれる手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の定点当たり患者数が、いずれも前週より増加しています。原因はコクサッキーウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスで、発熱や発疹、咽頭痛、結膜炎などの症状を伴います。これらの感染症は主に飛沫感染・接触感染により広がるため、予防には丁寧な手洗いと咳エチケットが欠かせません。加えて、手指消毒や共有物のアルコール消毒等、日常的な衛生管理も忘れずに行いましょう。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者数は増加し、0.43 人となりました。本症は夏と冬に患者数が増える傾向にあるため、注意が必要です。今後も手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な予防対策をしましょう。

注目の疾患(定点当たり患者数の過去5週の動き)



定点把握対象疾患(過去5週の動き)

【流行傾向の見方】

無印 : ほとんど患者が発生していません
 ☆ : 患者が発生しています
 ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
 ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

(定点当たり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		27	28	29	30	31		
インフルエンザ	岩手県	0.00	0.10	0.07	0.15	0.48		☆
	全国	0.12	0.13	0.20	0.24			
RSウイルス感染症	岩手県	0.26	0.19	0.07	0.27	0.19		☆
	全国	0.37	0.43	0.48	0.46			
咽頭結膜熱	岩手県	0.22	0.26	0.15	0.12	0.33		☆
	全国	0.45	0.40	0.34	0.29			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.41	2.07	2.30	1.50	1.41		☆
	全国	2.06	1.89	1.75	1.32			
感染性胃腸炎	岩手県	4.63	5.26	5.81	4.12	4.00		☆
	全国	4.45	4.29	4.00	3.20			
水痘	岩手県	0.52	0.33	0.52	0.46	0.37		☆☆
	全国	0.32	0.38	0.30	0.29			
手足口病	岩手県	1.07	1.78	4.44	6.85	12.81		☆☆☆
	全国	7.03	9.12	9.35	6.98			
伝染性紅斑	岩手県	0.04	0.04	0.00	0.08	0.00		
	全国	0.06	0.08	0.07	0.06			
突発性発疹	岩手県	0.33	0.63	0.33	0.31	0.44		☆
	全国	0.33	0.34	0.29	0.25			
ヘルパンギーナ	岩手県	0.15	0.48	0.81	1.12	1.81		☆
	全国	1.77	2.29	2.30	1.57			
流行性耳下腺炎	岩手県	0.04	0.04	0.07	0.04	0.04		
	全国	0.05	0.05	0.06	0.04			
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	全国	0.02	0.00	0.00	0.02			
流行性角結膜炎	岩手県	0.14	0.14	0.00	0.07	0.07		
	全国	0.48	0.55	0.55	0.51			
新型コロナウイルス感染症	岩手県	0.07	0.38	0.19	0.24	0.43		☆
	全国	1.47	1.87	2.12	1.53			
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01			
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.11	0.05	0.00		
	全国	0.05	0.05	0.04	0.06			
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.11	0.16	0.37	0.16	0.11		☆
	全国	0.26	0.26	0.40	0.37			
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	全国	0.01	0.00	0.01	0.02			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.11	0.00		☆
	全国	0.04	0.02	0.02	0.02			
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	1	3		
	全国	17	23	28	47			
急性呼吸器感染症 (ARI)	岩手県	58.88	55.74	55.40	50.49	59.57		
	全国	50.88	52.25	51.89	42.87			

※2025年4月7日より急性呼吸器感染症(ARI)が定点把握対象疾患となりました。

※2023年第19週より新型コロナウイルス感染症が定点把握対象疾患となりました。

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症(定点把握対象疾患)から5類感染症(全数把握対象疾患)へ変更されました。

全数把握対象疾患(過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)	岩手県					全国	
		27	28	29	30	31	累計	30	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	2 (1)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	50	225	8300
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	41
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	2	0	2	18	108	1805
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	23
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	11
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	2	8	400
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	16	185
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	1	9
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	9	92
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	4
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	3	113
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	2	0	61
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	46
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	12	246
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	3	27
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	1	2
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	4	0	1	1	0	15	68	1386
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	4
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患(続き)(過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週) 岩手県						全国	
		27	28	29	30	31	累計	30	累計
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	4	286
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	3	3	126
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	1	0	0	0	2	11	566
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	2	15
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	9	283
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	4	3	88
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	6	13	769
	後天性免疫不全症候群	0	0	1	0	0	2	5	547
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	24
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	5	335
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	37
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	10	25	1746
	水痘 (入院例)	0	0	1	0	1	10	12	511
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	多剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	118
	梅毒	0	1	0	1	1	17	129	6582
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	1	0	100
	破傷風	0	0	0	0	0	1	2	55
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	52
	百日咳	0	1	0	0	0	20	62	3848
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	3
	麻しん	0	0	0	0	0	4	0	547
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	10

※2026年4月6日より、多剤耐性緑膿菌感染症が5類感染症(全数把握対象疾患)となりました。

今注目の感染症

急性呼吸器感染症 (ARI)

急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。これにより、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのような流行しやすい急性呼吸器感染症の流行の動向を把握することができ、また、仮に未知の呼吸器感染症が発生し始めた場合に迅速に探知することが可能となります。

急性呼吸器感染症に対する予防方法として、基本的な感染症対策である換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケットなどの実施が有効です。

なお、県内の急性呼吸器感染症の発生状況(速報)については、岩手県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

【参考】急性呼吸器感染症(ARI) (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari.html>

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやサポウイルスなどのウイルスが大部分を占めています。感染性胃腸炎の原因ウイルスは、手指や食品などを介して経口感染し、嘔吐、下痢、腹痛などを引き起こします。健康な人は軽症で回復しますが、子どもや高齢者は重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡したりすることがあります。

全国の感染性胃腸炎の報告数は、例年11月から増加し12月と1月から2月頃にピークを迎えます(図1)。

一方、県内の感染性胃腸炎の報告数は、2024年では全国と同様の流行形態をとっており、第5週にピークを迎えました(図1及び2)。2025年は第11週にピーク(13.26人)となりました。今週の県内各保健所管内の定点あたり患者数は図3のとおりです。

2026年4月1日から第31週までの県内の集団発生事例は17件あり、ノロウイルスが13件、ロタウイルスが1件、その他のウイルスによるものが3件でした。

感染性胃腸炎の主な原因となるウイルスは感染力が非常に強く、少量のウイルスでも感染する特徴があります。学校や教育保育施設、老人福祉施設などの集団生活を営む施設では、感染予防対策の再確認が勧められます。

ウイルス性胃腸炎の予防方法は以下のとおりです。

- (1) トイレの後、調理前、食事前には石けんと流水で十分な手洗いを行う。
- (2) 調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒以上で十分加熱する。
- (3) 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分にしながら、マスクや使い捨て手袋を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した器具を塩素系消毒剤で消毒する。
- (4) 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに受診する。

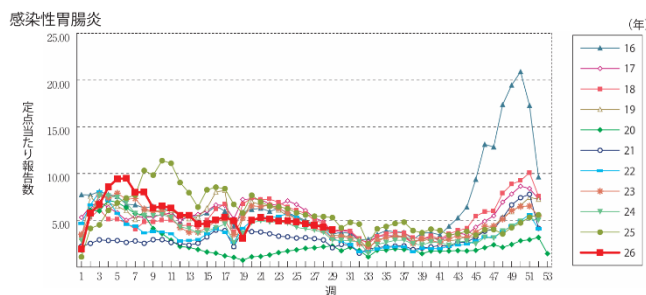


図1 全国の感染性胃腸炎の発生状況 (2016年～2026年第29週)

(国立健康危機管理研究機構 HP より)

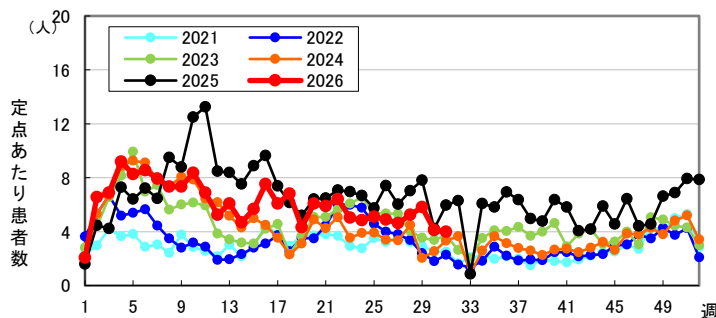


図2 岩手県の感染性胃腸炎の発生状況

(2021年～2026年第31週)

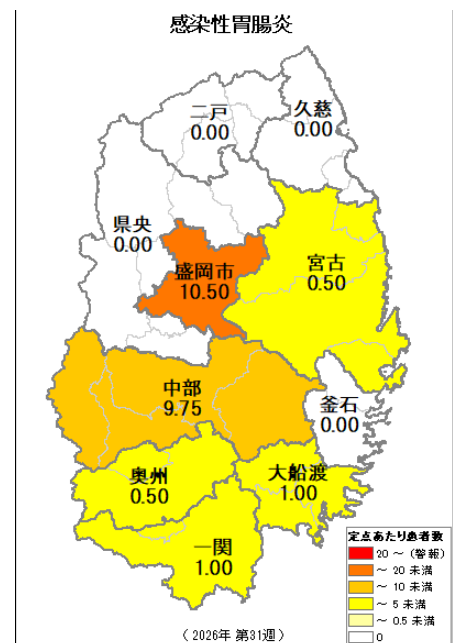


図3 第31週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区画データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

【参考】感染性胃腸炎(国立健康危機管理研究機構) <https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/intestinal/010/intestinal-intro.html>

今注目の感染症

手足口病

手足口病は、口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。コクサッキーA16 (CA16)、CA6、エンテロウイルス 71 (EV71) などのエンテロウイルスが原因ウイルスです。子供を中心に、主に夏に流行し、国内では7月下旬にピークを迎えます。基本的に予後は良好な疾患ですが、稀に髄膜炎、小脳失調症、脳炎といった中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、重篤な合併症を伴うことがあります。特に、EV71に感染した場合は、他のウイルスによる手足口病と比較して、中枢神経系の合併症を引き起こす割合が高いことが知られています。

感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。感染すると、3～5日後に口の中、手のひら、足底や足の甲などに2～3 mmの水疱を伴う複数の発疹が出ます。発熱は3分の1の人に見られますが、38℃以下のことが多く、高熱が続くことは通常ありません。多くの場合、3～7日のうちに治る病気です。なお、特別な治療法はなく、基本的に症状が軽い病気なので、症状に応じた対症療法を行います。

感染症発生動向調査によると、患者のうち半数が2歳以下ですが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。成人を含めた小学生以上の大半はすでにウイルスの感染（不顕性感染も含む）を受けている場合が多いため、成人での発症はあまり多くありません。

手足口病にかかりやすい年齢層である乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。このような施設では、子供同士の生活距離が近く、濃厚な接触が生じやすい環境であることから、手足口病の集団感染が起こりやすくなっています。

予防方法としては、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することが挙げられます。乳幼児のおむつを交換する時は、特に気を付けてください。手洗いは流水と石けんで充分に行い、タオルの共用は避けましょう。手足口病は、治った後も比較的長い期間、便の中にウイルスが排泄され、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、日頃からしっかりと手洗いをすることが大切です。

なお、手足口病に有効なワクチンや予防薬はありません。

岩手県では2024年の第29週に手足口病の警報レベル開始基準値（5.0人）を超え、第51週に終息基準値（2.0人）を下回るまで、長期に渡り流行が続きました（図1）。今週の県内各保健所管内の定点当たり患者数は図2のとおりです。

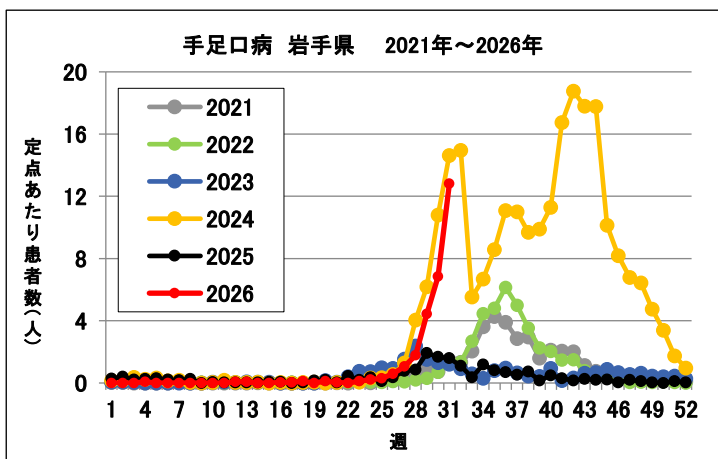


図1 岩手県の手足口病の発生状況
(2021年～2026年第31週)

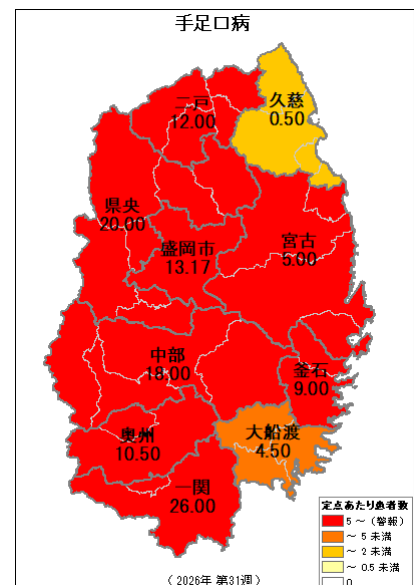


図2 第31週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報（行政区域データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に主に夏に流行するウイルス性咽頭炎です。夏かぜの一種で、発熱とともにのどに痛みと水疱が現れます。原因ウイルスは主にコクサッキーウイルスA群ですが、コクサッキーウイルスB群やエコーウイルスが原因となることもあります。

感染してから2～4日後に、突然の発熱に続いて、のどに痛みと水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを引き起こします。2～3日以内に回復しますが、合併症として熱性けいれん、脱水症、小児ではまれに髄膜炎や心筋炎などの注意が必要です。

感染経路は主に経口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染する）、接触感染、飛沫感染です。急性期にはのどからウイルスが排泄されるため、咳をした時のしぶき（飛沫）により感染します。また、急性期から回復期（発症後2～4週間程度）にかけて、便からウイルスが排泄されるため、便が付いたおむつや下着などに触れた後は、十分な手洗いが必要です。

ヘルパンギーナには特別な治療法はありません。基本的に症状が軽いため、経過を見ながら対症療法が中心となります。また、ヘルパンギーナには予防のためのワクチンや特別な治療薬はありません。よって、日頃から手洗い等の感染対策を徹底することが大切です。

ヘルパンギーナは、国内では毎年5月頃から増加し始め、7月頃にピークになり、8月頃から減少し始めます。そして、9～10月にはほとんど見られなくなります。なお、患者全体の90%以上を5歳以下の子供が占めます。

岩手県における過去5年間の発生状況を振り返ると、2023年第26週から警報レベル（6.0人）を超過し、第36週に終息するまで流行しました。全国の発生状況は図1、岩手県における発生状況は図2～3のとおりです。

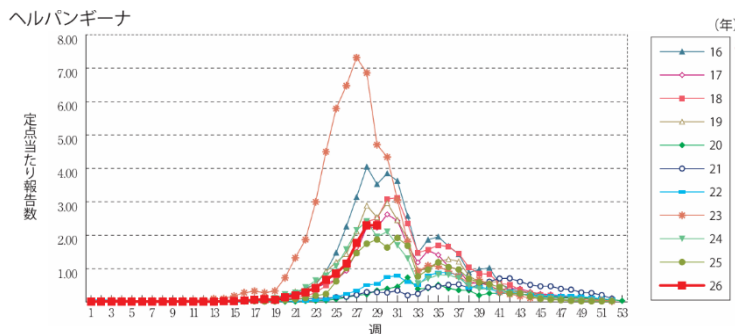


図1 全国のヘルパンギーナの発生状況（2016年～2026年第29週）

（国立健康危機管理研究機構 HP より）

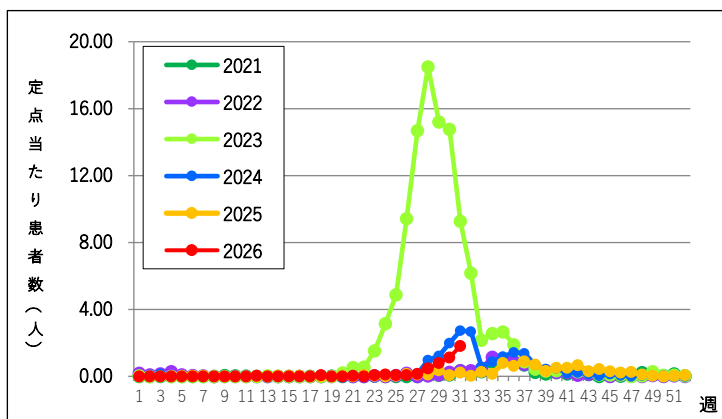


図2 岩手県のヘルパンギーナの発生状況

（2021年～2026年第31週）

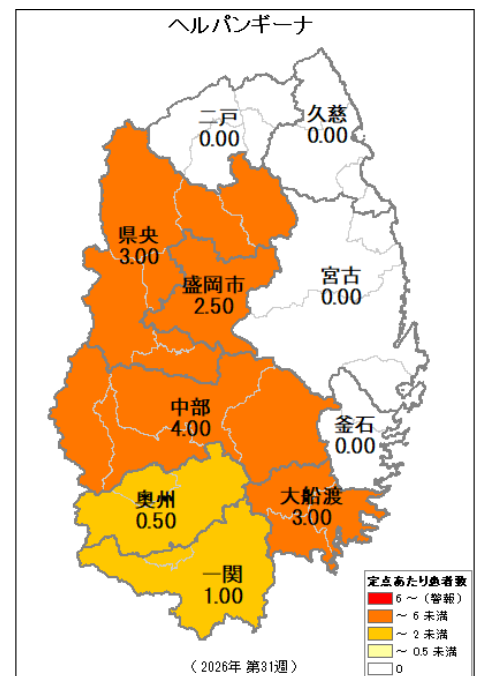


図3 第31週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報（行政区画データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）を使用した。（承認番号 平29情使、第675号）

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。2023年第19週（5月8日～14日）から全数把握対象疾患ではなく、五類感染症の定点把握対象疾患となり、県内の発生動向は定点医療機関からの患者数の報告に基づいて公表しています。

2023年第19週以降の国内と県内の定点当たり患者数は図1のとおり、2025年1月から2025年12月までに県内で検出された新型コロナウイルス変異株の解析結果は図2のとおり、2026年第31週の県内保健所管内ごとの定点当たり患者数は図3のとおりです。

高齢者や基礎疾患のある方は重症化のリスクがあるので特に注意が必要です。予防には、咳エチケットや手洗い、換気等普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3つの密」（換気の悪い密閉空間、人が多数集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）を避けるようにしましょう。

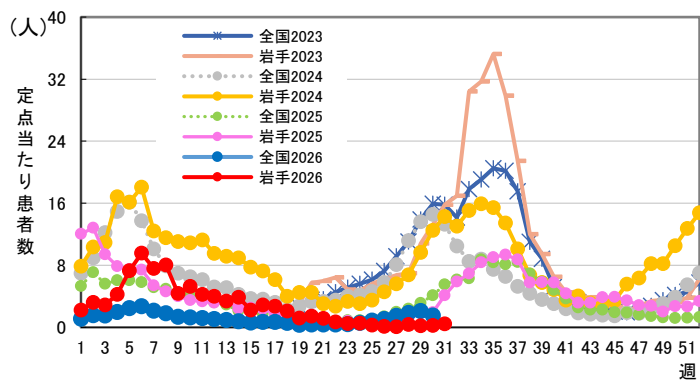
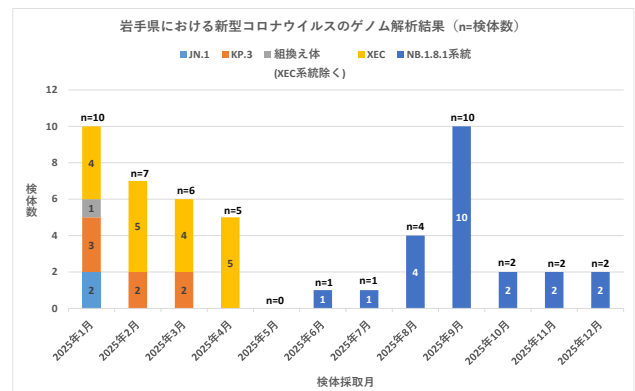


図1 全国及び岩手県の状況(2023年第20週～)

図2 岩手県における新型コロナウイルスゲノム解析結果
(2025年1月～2025年12月)

【参考】

新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報（国立健康危機管理研究機構）

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/coronavirus/index.html>

岩手県の新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

図3 第31週の保健所管内別の状況

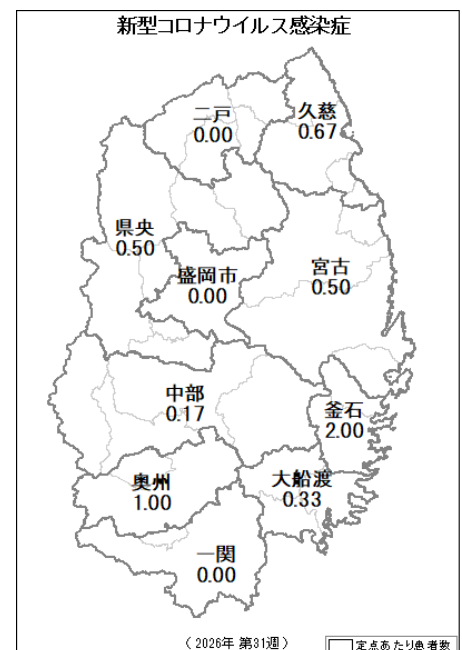
※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報

（行政区画データ）」をもとに岩手県が編集・加工した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、

同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情

報）を使用した。（承認番号 平29情使、第675号）



岩手県の電話等相談窓口

県民医療相談センター

受付時間：平日 9時から16時

TEL：019-629-9620 FAX：019-626-0837

岩手県救急医療電話相談ダイヤル「#7119」

受付時間：24時間 365日

TEL：#7119 (ダイヤルまたはIP電話の場合は019-656-1774)

《15歳未満のお子さんに関するご相談》

岩手県小児救急医療電話相談「#8000」

受付時間：午後7時から翌朝8時まで 年中無休

TEL：#8000 (ダイヤルまたはIP電話の場合は019-605-9000)

《岩手県の受診・相談（新型コロナウイルス感染症）ホームページ》

「かかりつけ医」がない場合、ご相談ください。

- ① 発熱等の症状がある場合の健康相談や受診先の相談。
- ② ワクチンの効果や体への影響、接種後の副反応についての相談。

ホームページはこちら↓

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/1052939.html>

医療機関からの情報

この週には医療機関からの情報はありません。

Q&A

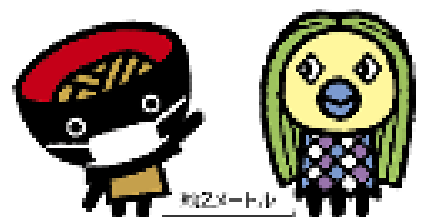
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 1-11-16

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667



集団感染情報

○新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生について

岩手県 0件 盛岡市 0件

○感染性胃腸炎の集団発生について

今週の集団発生事例はありません。

○インフルエンザによる学校等休業措置について（第31週公表分）

岩手県 0件 盛岡市 0件

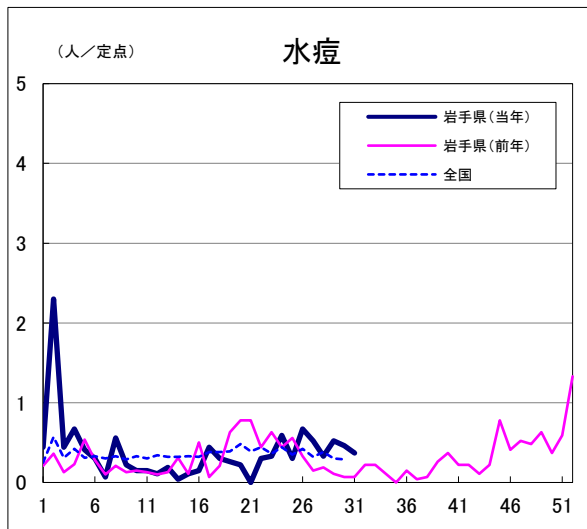
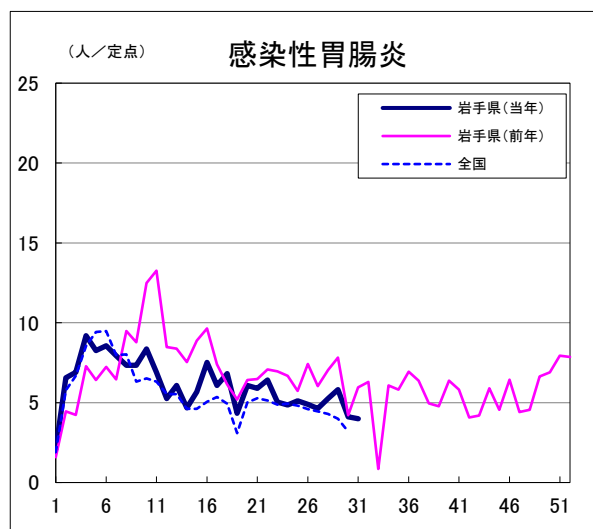
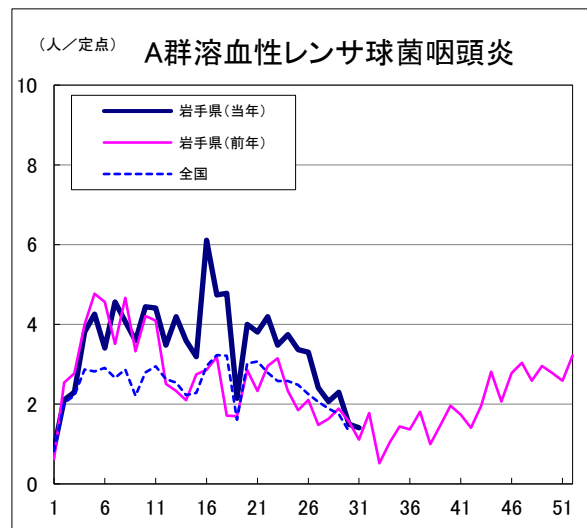
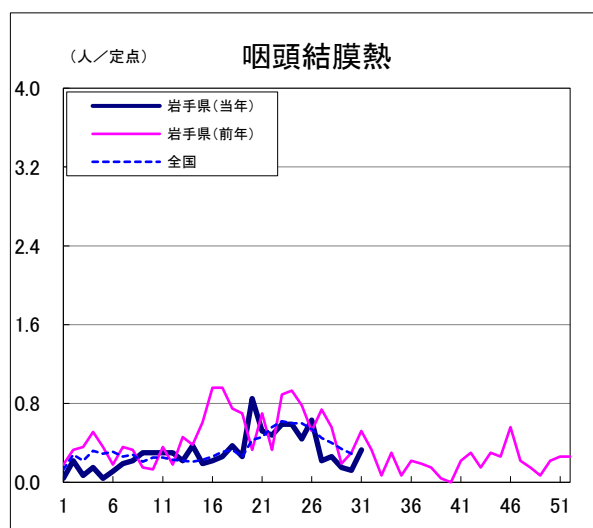
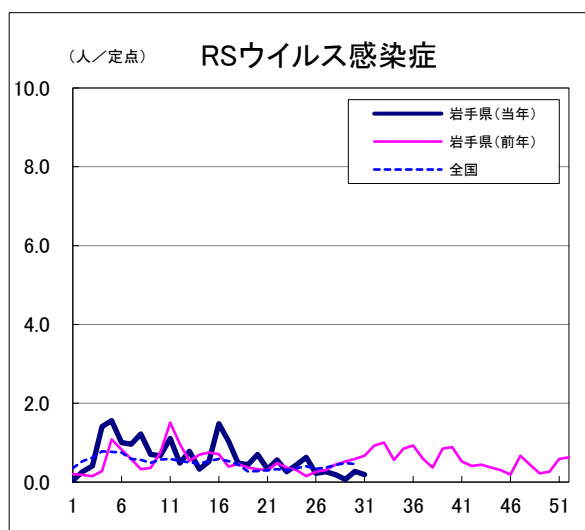
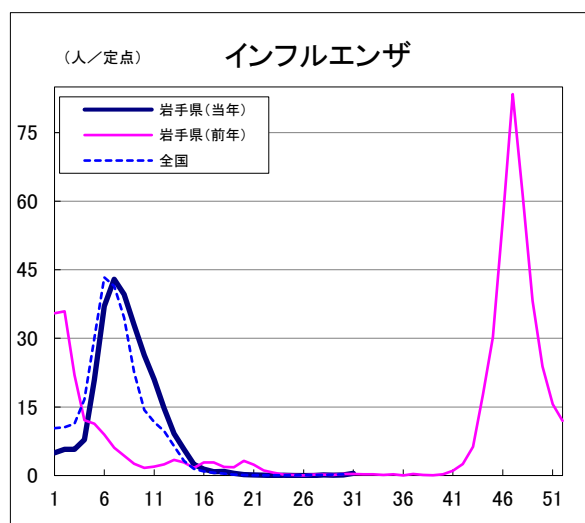
集団感染情報に関するお問合せ先
岩手県保健福祉部医療政策室
TEL 019-629-5417

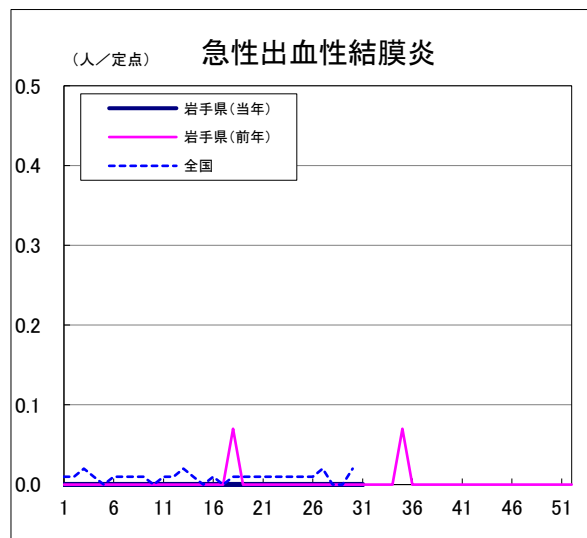
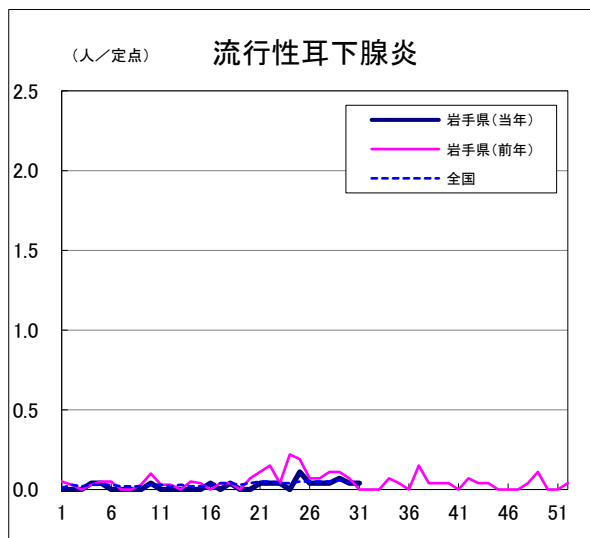
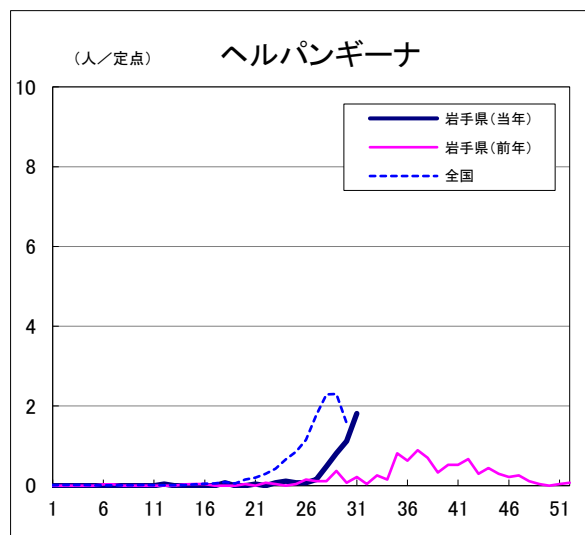
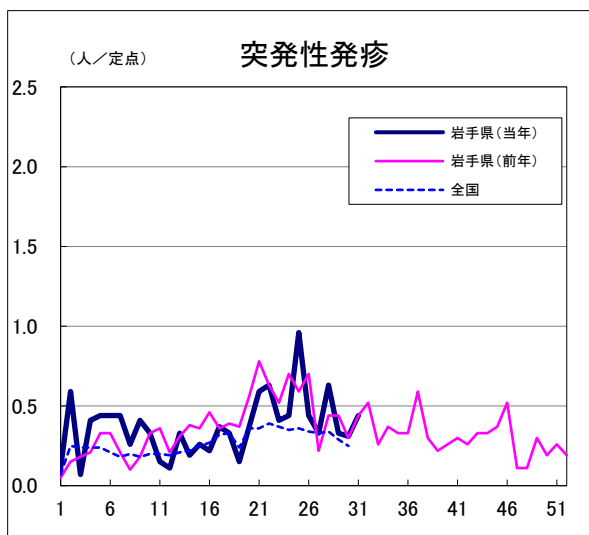
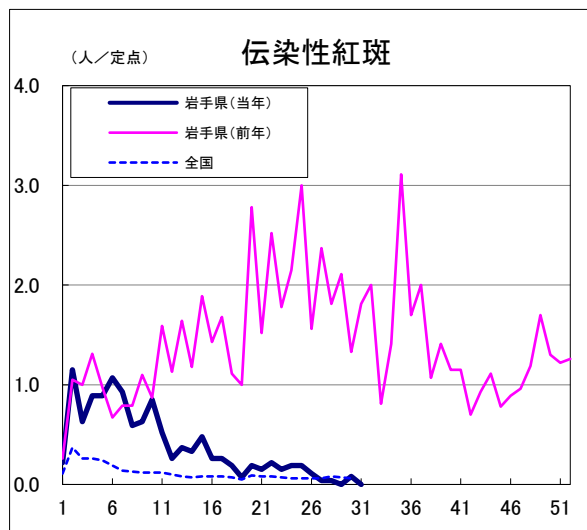
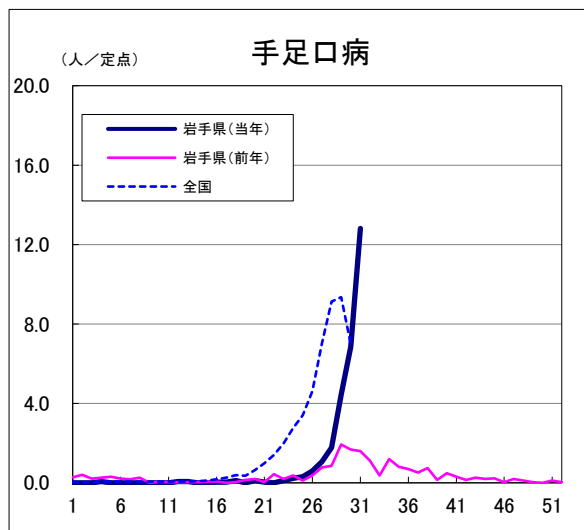
病原体検出情報

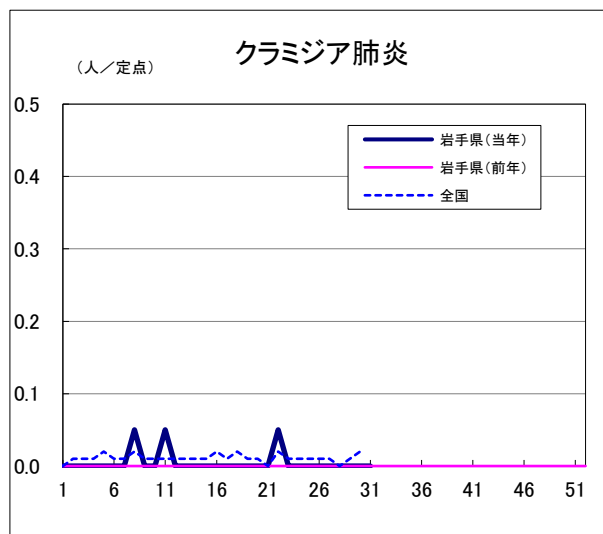
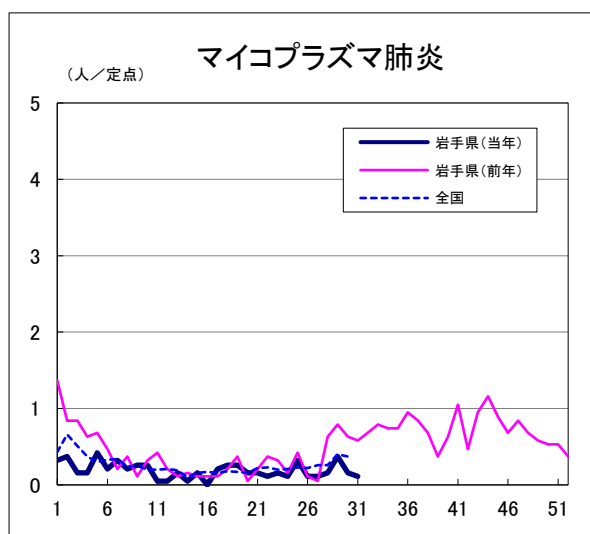
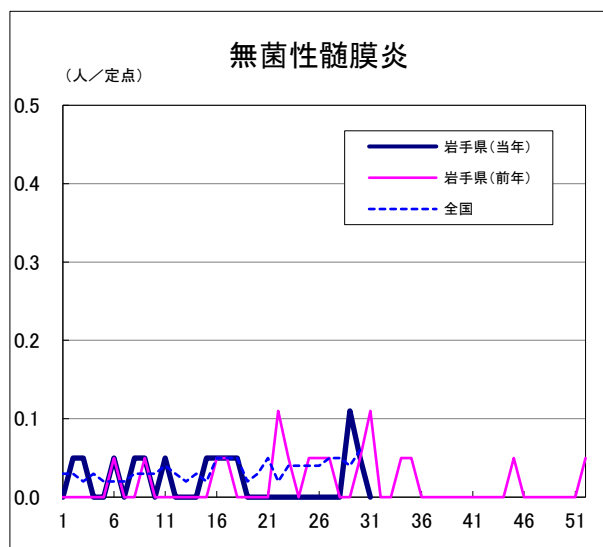
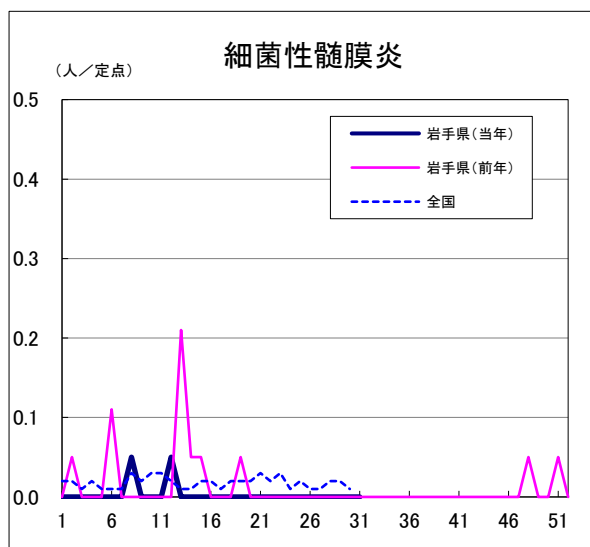
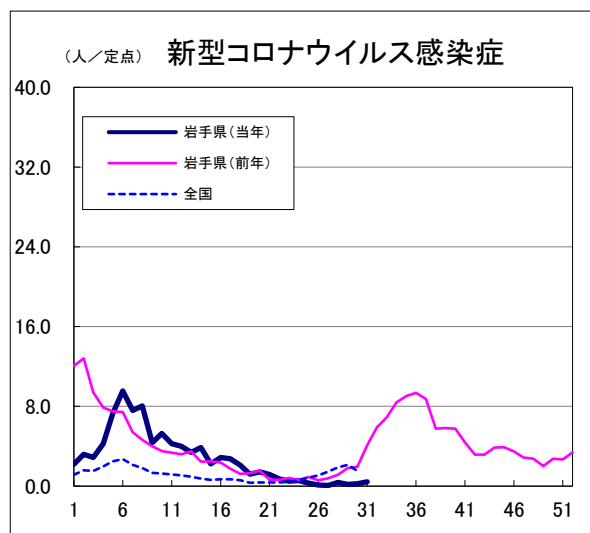
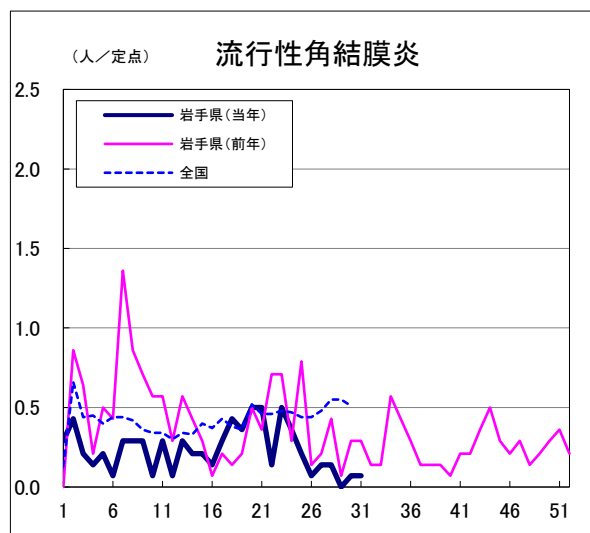
- ・ 急性咽頭炎患者の咽頭ぬぐい液 5 検体から、アデノウイルスを 1 件、SARS-CoV-2 を 2 件、ライノウイルスを 1 件、パラインフルエンザウイルスを 1 件検出しました。
- ・ 急性気管支炎患者の咽頭ぬぐい液 7 検体から、ライノウイルスを 3 件、パラインフルエンザウイルスを 2 件、アデノウイルスを 1 件、ヒトメタニューモウイルスを 2 件検出しました。
- ・ 急性上気道炎患者の咽頭ぬぐい液 3 検体から、ライノウイルスを 2 件、SARS-CoV-2 を 2 件、パラインフルエンザウイルスを 1 件検出しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症患者の咽頭ぬぐい液 1 検体から、SARS-CoV-2 を 1 件検出しました。
- ・ 喘息性気管支炎患者の咽頭ぬぐい液 2 検体から、ライノウイルスを 1 件、パラインフルエンザウイルスを 1 件、SARS-CoV-2 を 1 件検出しました。
- ・ 手足口病患者の咽頭ぬぐい液 2 検体から、ライノウイルスを 2 件、コクサッキーウイルスを 1 件、SARS-CoV-2 を 1 件、パラインフルエンザウイルスを 1 件検出しました。
- ・ ヒトメタニューモウイルス感染症患者の咽頭ぬぐい液 1 検体から、ヒトメタニューモウイルスを 1 件検出しました。

※1 検体から複数の病原体を検出することがあります。

疾病別グラフ (定点当たり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	ARI定点	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		42	27	14	19
盛岡市		9	6	3	4
県央		4	3	2	1
中部		6	4	2	4
奥州		4	2	1	2
一関		3	2	1	2
大船渡		3	2	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		4	2	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

無料です!!

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下の URL からお願いします。

<https://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和8年第31週 令和8年8月7日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査協議会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <https://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>